

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】令和2年7月1日現在

圏域人口 : 43,340人

高齢者人口 : 14,770人

高齢化率 : 34.1%

【圏域の特徴】

●歴史・地理

庄内地区は豊中市の南の端に位置しており、北は名神高速道路、南は神崎川、西は旧猪名川、東は天竺川に囲まれた平地である。地区の東側を阪急宝塚線と国道176号線が、西側を阪神高速11号池田線が南北に貫いている。大阪都心から電車で10分と近いため、昭和30年以降の高度経済成長期に都市基盤が未整備のまま木造賃貸住宅などが集中して建築され、急速に市街化が進行した。そのため、道路・公園の不足、築年数の経過した長屋住宅や文化住宅が多いなど、災害が起きた場合に甚大な被害が発生する恐れのある木造住宅などが密集する市街地が形成され、住環境や防災上の課題が多い地域である。ただ、最近では、木造住宅解体費用に市から補助が出ることもあり、古い木造賃貸住宅を解体して、新たに若者向けのマンションや戸建住宅に建て替えるケースも徐々に増えてきている。

●生活状況

高齢世帯の割合が36.2%と高く、そのうちの7割は独居高齢者である。庄内駅前を中心に、低家賃の住宅が多く、物価も比較的安いいため、低所得世帯が多く、戸建よりも賃貸住宅に暮らす高齢者の割合が高い。庄内駅周辺は豊南市場や商店街があり、買物もしやすく、人通りが多い地域であるが、南西部エリアはスーパーや商店がなく、交通の便も悪いため、高齢者にとっては不便な地域である。

●社会参加の状況

文化住宅や長屋が多いため、昔ながらの近所づき合いがまだ残っている地域も多く、自治会加入率も他の地域に比べると高い。一方で、ボランティアやグループ活動への参加率は低く、特に男性の社会参加が少ないのが課題である。

●介護予防への意識

年金収入だけでは生活が厳しいためか、高齢になっても仕事をする人の割合が高く、地域での交流を通じた介護予防(通いの場づくり事業など)を希望

する高齢者は少ない。

*このような地域特性から、経済的困窮・虐待・認知症・精神疾患・子供のひきこもり、といった課題が重複している困難ケースが多く、容易には解決することができず、長期化することが増えている。

*新型コロナウイルスの影響により、外出や運動機会の低下、サービス抑制、家族との関わり減少などで、フレイルとなってしまう高齢者が増えつつある。

センターの取り組み方針や特徴

【センターの運営方針】

・地域の高齢者からのあらゆる相談に真摯に向き合い、できるだけ現場に足を運び、1人1人に寄り添って、根気強く支援を行う。

・公平、公正、中立の遵守を常に心がけている。

【特に力を入れて活動している点】

・普段の訪問や移動時、地域住民との関わりの中で、全職員が通いの場づくりに繋がる情報を得るよう意識づけを行い、自治会や老人会だけでなく、介護施設、寺院、整骨院、喫茶店などでも普及啓発を行った結果、4ヶ所の立ち上げにつながった。

・庄内地域で活動している医療・介護関係者有志による多職種連携会議「ほっとライン庄内」の事務局として、年間2回の勉強会・意見交換会を企画した。コロナウイルスの影響で2回目は中止となったが、次年度、オンラインでの開催に向けて準備している。

【活動の中での課題やその解決策】

・新型コロナウイルスの流行により、人が集まることができなくなった結果、通いの場の中止、地域教室やサロンの中止、研修の中止、訪問活動の自粛を余儀なくされた。

⇒独自の新聞を作成して、高齢者世帯を中心にポスティングを行った。

⇒とよなかパワーアップ体操のDVDを自主活動グループや介護保険施設に配布した。

⇒「3密を避ける、マスクをする、定期的に換気、消毒」の徹底。

【その他】

・フェイスブックを通じて毎月の活動状況を発信していくことでフォロワーが150人を超え、今まで接点のなかった人達にも包括の存在や活動を知ってもらうことができた。

総評

【特徴的な取り組み内容】

- ① 地域の幅広い多職種間のネットワークにより、事例検討での助言などにおいて、効果的な支援につながったケースも多く、有機的な医療と介護の連携体制が構築されています。
- ② 全職員が新たな通いの場づくりに積極的に取り組むことで、場の創設に繋がっています。
- ③ 顔と顔の見える関係づくりのため、常に足を運ぶことを基本に、地域住民や民生委員などとの関係づくりに努めています。

【さらなる質の向上の余地がある点】

複合課題があるケースの増加に対するより効果的な解決に向けて、地域包括支援センターのみで解決できない課題などについて、必要な社会資源や担当部署との連携のあり方、役割分担等を明確にしていくなど、より発展的な取り組みが望まれます。